

サプライ ヤー行動 規範



thyssenkrupp





サプライヤー管理におけるサステナビリティ (持続可能性)に関する弊社の理解

thyssenkrupp AGとその関連会社(以下、総称して「thyssenkrupp」)にとって、サステナビリティ(持続可能性)は、thyssenkruppのミッション・ステートメントの重要な要素であり、弊社のビジネス戦略の不可欠な構成要素となっています。thyssenkruppは、将来の市場や顧客の要求に応える技術やソリューションを開発する国際的な企業グループです。革新的な製品とサービスでお客様のサステナブルな成功を確保するため、私たちは世界中のサプライヤーから原材料、商品、サービスを調達しています。弊社のサプライヤーとの関係は、長期的な価値創造に焦点を当てる責任あるコーポレート・ガバナンスに基づいています。このような理由から、弊社のサプライヤーは、弊社のサステナビリティ戦略の中に完全に組み込まれています。

弊社は調達活動において、法的基準、商業的基準、技術的基準、プロセス関連の基準を遵守するだけでなく、人権、労働条件、汚職防止などの社会的・環境的側面や、環境保護や気候変動対策にも配慮しています。私たちは長年にわたり、生産プロセスのエネルギー効率と気候効率を体系的に改善してきました。また、弊社はお客様やサプライヤーと協力して、温室効果ガスの排出量をさらに削減するための効率的なソリューションを開発することを目指しています。thyssenkruppは、さらに温室効果ガスを減らし、カーボン・ニュートラルの達成に向けて、意欲的な目標を設定しています。長期的な目標は、2050年までにグループ全体が完全クライメート・ニュートラル(気候中立)になることです。そのため、私たちのサステナビリティ活動は、弊社製品の開発・生産からリサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通じたCO2排出量の削減にも焦点を当てています。弊社製品のCO2排出量を削減するためには、弊社のサプライヤーのネットワークが重要な役割を果たします。

責任ある行動をとることは、弊社の調達プロセスにおける重要な考慮事項です。私たちは、法的基準、商業的基準、技術的基準、およびプロセス関連の基準だけでなく、社会的基準、環境的基準、および倫理的基準に基づいて契約を締結します。このためサステナビリティは、thyssenkruppがサプライヤーの採否を決定する際に重要な役割を果たしています。

この採否決定プロセスを円滑に進めるため、thyssenkruppはサプライヤーに求めることを明確に定義した「サプライヤー行動規範」を策定しました。この「サプライヤー行動規範」は、国連グローバル・コンパクトと国連の「世界人権宣言」で定められた原則に基づいています。弊社の目標は、こうした国連宣言に定められた原則を遵守し、関連する国内法を遵守するサプライヤーとのみ取引することです。

サプライヤーがこうした原則に違反し、必要な是正措置を遵守、または実施しない場合、thyssenkruppは、そのサプライヤーとの取引関係の開始、または継続に関する決定を見直す権利を有します。したがって、この「サプライヤー向け行動規範」は、以下の項に記載されている原則を弊社の提携関係の中で実施すべき方法について相互理解を深める目的で、サプライヤーに提供されています。¹⁾

¹⁾ 当社の出版物では、ジェンダー・ニュートラル、つまり性別を表さない言葉を使用しています。一貫して読みやすくするため、私たちは性別を表す文字を省略し、可能な限りすべての性別を含むジェンダー・ニュートラルな言葉を使用しています。

人権と従業員の権利

thyssenkruppは、サプライヤーが人権についての国際連合憲章を遵守し、それぞれの国や各拠点の関連する法律や法制度を遵守すること、それぞれの拠点の国内法の下で従業員の基本的な権利を尊重し、国際労働機関 (ILO) が発表している「中核的労働基準」を保証することを求めています。thyssenkruppはまた、サプライヤーが第三者の権利を尊重し、すべての国際基準を遵守しながら、こうした権利への潜在的な妨害を最小限に抑えることを求めています。

児童労働

thyssenkruppは、サプライヤーがILOの中核的労働基準を遵守し、この文脈において、自社内であらゆる種類の児童労働を禁止し、児童労働に関与しないことを求めています。

差別

thyssenkruppは、サプライヤーがあらゆる面でいかなる差別もない労働環境を提供することを求めます。サプライヤーで働くいかなる従業員も、性別、肌の色、宗教、国籍、政治的信念やその他の信念、民族的出自、身体的障害、年齢、性的指向、およびアイデンティティ、または個人的な特徴によって、差別されたり、優遇されたり、嫌がらせを受けたりしてはなりません。

強制労働

thyssenkruppは、サプライヤーが自社内でのあらゆる種類の強制労働や人身売買を禁止し、そのような活動に関与しないことを求めています。すべての仕事は自発的に行われなければなりません。法定の解雇予告期間に従い、従業員は自らの判断で自由に雇用を終了することができなければなりません。強制労働とは、あらゆる種類の債務による束縛を意味します。thyssenkruppは、サプライヤーに対し、雇用の条件として身分証明書、旅券、教育修了証明、労働許可証、または保証金などを預かるといった、あらゆる強制的な措置を禁止することを求めます。

結社の自由

thyssenkruppは、サプライヤーがその従業員の権利を尊重すること、従業員を代表する組織を結成すること、関連する国内法に従って団体交渉に従事することを求めます。

報酬および労働時間

thyssenkruppは、サプライヤーが労働時間に関する、それぞれの国内法を遵守することを求めます。国内法がない場合は、ILOが発行する国際基準が適用されます。また、サプライヤーには、関連する国内法、法的最低賃金、および雇用者が保証した手当に準拠した報酬を従業員に支払うことが求められます。国際基準が適用されます。また、サプライヤーには、関連する国内法、法的最低賃金、および雇用者が保証した手当に準拠した報酬を従業員に支払うことが期待されます。

言論の自由の権利、個人およびプライバシーの権利

thyssenkruppは、サプライヤーが従業員の言論の自由の権利を尊重し、個人およびプライバシーの権利を保護することを求めます。

労働安全衛生

thyssenkruppは、サプライヤーが関連する国内の労働安全衛生規制に準拠し、人道的な労働条件を保証することを求めます。事故や仕事に関連した病気を可能な限り最善の方法で防ぐために、thyssenkruppはサプライヤーに適切な労働安全衛生管理システム (例: ISO 45001の準拠) を導入し、適用することを求めています。これには、実際の事故および潜在的な事故と健康リスクの特定、評価および低減、事故の確認と調査、従業員に理解できる方法でのトレーニングと導入、適切な作業設備と個人用保護具の提供、並びに適切な予防措置と緊急対応措置が含まれます。

環境保護

thyssenkruppは、サプライヤーが、エネルギーおよび環境に関する国内法、規制、基準に準拠することを求めます。また、サプライヤーには、適切な環境およびエネルギー管理システムを導入し、適用することが求められます。また、エネルギー、水、原材料などの資源を効率的かつ責任を持って消費し、廃棄物、CO₂、廃水による汚染、有害物質の排出を防止・削減するための技術を活用することも求められています。thyssenkruppは、サプライヤーに対して、thyssenkrupp Group の「環境・エネルギー方針」に定められた基本的な規則および原則を実施することも奨励しています。

thyssenkruppは、サプライヤーが自社の排出量並びに、サプライチェーン上流の活動に関して透明性を確保することを求めています。さらに、サプライヤーには、気候変動抑制に関するパリ協定に従って、直接的なCO₂排出量、および間接的なCO₂排出量の削減を目的とした効果的な対策を実施すること、継続的な改善の取り組み、再生可能エネルギーや代替エネルギーの使用をさらに推進することが求められています。

事業活動におけるインテグリティ

thyssenkruppは、サプライヤーが営業活動をする国、またはビジネスを行う国で適用されるすべての法律、規則、および規制を遵守すること、また、これらの法律、規則、および規制の遵守を徹底するために適切な手段を実施することを求めます。

汚職および贈収賄の防止

thyssenkruppは、サプライヤーが汚職に関してゼロ・トレランス (不寛容) の方針を貫くことを求めています。また、汚職撲滅のための国連 (UN) および経済協力開発機構 (OECD) の協定、ならびに外国における贈収賄への対処を含む、適用される汚職防止法および規制を遵守することを求めています。サプライヤーは、あらゆる形態の汚職、贈収賄、窃盗、横領、詐欺、または恐喝を拒否する必要があります。意思決定プロセスに影響を与えることを目的として、個人、企業、または公務員への裏金やその他の便宜供与を容認してはなりません。特に、サプライヤーは、いかなる状況においても、直接的であれ間接的であれ、第三者を介して、ビジネスの機会、公的行為の促進または簡略化 (賄賂または便宜供与)、またはthyssenkrupp企業のビジネス活動に関連する見返りとして、賄賂、献金、キックバックの支払い、その他の裏金、報奨金、優遇やその他の利益、または高価な利得を与えたり、受け取ったりしてはなりません。

招待と贈答品

thyssenkruppは、サプライヤーがビジネスパートナー、顧客、または公務員に影響を与える目的で、招待や贈答品を悪用しないことを求めます。thyssenkruppの従業員や関係者に提供される招待や贈答品は、機会と価値の点から見て適切なものでなければなりません。すなわち、それらは価値が低く、一般的に受け入れられている現地のビジネス慣習を表現したものと解釈できます。サプライヤーも同様に、thyssenkruppの従業員に不当な利益を要求しないことが求められます。

利益相反の防止

thyssenkruppは、サプライヤーが専ら客観的な基準に基づいて、thyssenkruppとのビジネス活動に関する決定を行うことを求めます。親族やその他の関係者、または組織の利害を含め、個人的な事柄、商業活動、またはその他の活動との利益相反は、最初から防止されなければなりません。

公正な競争 - 独占禁止法および競争法の遵守

thyssenkruppは、サプライヤーが公正な競争を支持し、適用される独占禁止法および競争法を遵守することを求めます。サプライヤーは、独占禁止法に違反して競合他社との反競争的な契約に関与したり、潜在的に存在する市場での支配的な地位を悪用したり、その他の反競争的な行為に関与したりしてはなりません。

データ保護と情報セキュリティ

thyssenkruppは、サプライヤーが個人データの保護に真剣に取り組み、関連するすべてのデータ保護法を遵守することを求めています。適切な法的根拠のない個人データの処理は厳しく禁止されています。

thyssenkruppは、サプライヤーがthyssenkruppの機密情報またはデータを保存するすべての情報システムを適切に管理し、不正アクセスから保護するために適切な技術的対策を講じることを求めています。

マネーロンダリングおよびテロ組織の資金調達の防止

thyssenkruppは、サプライヤーが資金洗浄やテロリストの資金調達の防止に関連して適用される法的義務を遵守し、資金洗浄活動やテロ組織の資金調達に直接的、または間接的に関与しないことを求めています。

貿易規制の遵守

thyssenkruppは、サプライヤーが、特に輸出規制や禁輸措置に関する規制を含む、関連する国際的および国内的な外国貿易規制を厳密に遵守し、制裁の対象となる個人、企業または組織との違法な取引に関与しないことを求めています。

外部人材および請負業者の公正な利用

thyssenkruppは、サプライヤーがすべての関連する国内法を遵守し、その契約関係および労働関係において人権および労働権を保護することを求めます。これには、契約の種類(例:労働契約または人材の雇用)にかかわらず、サプライヤーによる外部の人材や請負業者の利用も含まれます。

サプライチェーンの要件とデューデリジエンスの義務

thyssenkruppは、サプライヤーとの建設的な協力関係を重視します。thyssenkruppが従業員、顧客、サプライヤー、近隣住民を責任を持って公正に扱うことを約束しているのと同様に、サプライヤーにもこの「サプライヤー行動規範」に定められている原則と規則に従って行動することを求めています。

thyssenkruppは、サプライヤーがそれぞれの国のサプライチェーンに関連する要件とデューデリジエンス要件を遵守し、この「サプライヤー行動規範」に記載されているすべての原則と要件が関連会社によっても支持かつ遵守されることを保証し、自社のサプライヤーによる、この「サプライヤー行動規範」に規定されている基本原則の遵守を徹底するために、そのサプライチェーンの上流において合理的な努力をすることを求めています。ここでいう「関連会社」とは、サプライヤーが直接的、または間接的に50%以上の経済的利益を保有している会社、または、サプライヤーが直接的、または間接的に50%以上の議決権を保有している会社を意味します。

紛争鉱物および高リスクの原材料

thyssenkruppは、サプライヤーが責任ある原材料のサプライチェーンを促進するための注意義務を適切に行い、紛争鉱物に関連して適用されるすべての法的規則を遵守することを求めています。特にスズ、タンタル、タングステン、金、およびそれらの鉱石や金属を含む鉱物は、紛争とは無縁の供給源から調達されることを求めています。製品に1つ以上の紛争鉱物や高リスクの原材料(例:電池製造の重要な原材料であるコバルト)が含まれている場合、thyssenkruppはサプライヤーに対して、要求に応じて、材料の製錬所や原産地までのサプライチェーンの透明性を確保し、提供することを求めています。

その目的は、適切な、あるいは認証されたデューデリジエンスプロセスのない製錬所を除外することです。

品質基準と製品リスクの管理

thyssenkruppは、サプライヤーが製品やプロセスの品質に関する技術的要件および法的要件を常に満たすことを求めています。検出された欠陥や欠点は速やかに修正する必要があり、その原因を調査し、恒久的に除去する必要があります。サプライヤーのプロセスは、原則として、機能、コスト、適時性の面でパフォーマンスを向上させる目的で、継続的に精査し、改善しなければなりません。

潜在的な不正行為の報告

合法的な内部告発の報告は、違反行為を早期に是正し、thyssenkrupp、弊社の従業員およびビジネスパートナーの損害を抑えるのに役立ちます。thyssenkruppの全従業員、サプライヤー、顧客、およびその他の第三者が、必要があれば匿名で、さまざまなチャンネルを利用して、報告することができます。

thyssenkruppに影響を与える可能性のある潜在的な違反の具体的な兆候がある場合、弊社はサプライヤーに対して、次のリンクから利用可能な弊社の内部告発システムを使って報告するよう要請します。

<https://www.thyssenkrupp.com/compliance-wb>

ILOの中核的労働基準および原則に対する違反の可能性を報告するために、オンラインベースの内部告発システムが用意されています。同システムは次のリンクから利用可能です：

<https://www.bkms-system.net/frameworkagreement>

thyssenkruppの全従業員、サプライヤー、顧客、その他の第三者は、同システムを利用して、必要に応じて匿名で、ILOの中核的労働基準や原則に対する違反行為に気づいた場合の情報を報告することができます。また、この電子メールアドレス (frameworkagreement@thyssenkrupp.com) を利用して報告することもできます。

thyssenkruppは、安全な報告システムを提供することにより、また、受け取った情報を機密に扱い、善意で行動する内部告発者を、疑惑を報告したことによる不利益から保護するためにあらゆる手段を用いることにより、内部告発者の利益を保護します。thyssenkruppは、内部告発者から情報が提供されたデータ対象者の利益も保護します。

thyssenkruppは、サプライヤーに内部告発システムを設置する法的義務がある場合には、サプライヤーがそれを遵守することを求めています。

thyssenkruppの「サプライヤー行動規範」の遵守

thyssenkruppは、サプライヤーがこの「サプライヤー行動規範」に同意すること、この「サプライヤー行動規範」に基づく自己評価アンケートに回答すること、または同等の代替書類を提出することを要請します。thyssenkruppは、サプライチェーンのリスクを特定し、低減し、防止することを目的としたデューデリジェンスプロセスの一環として、このサプライヤー行動規範に定められた原則および要件に対するサプライヤーの遵守状況を定期的に確認します。

thyssenkruppの「サプライヤー行動規範」に定められている原則と要件に違反する行為は、サプライヤーによる重大な契約違反とみなされます。

thyssenkruppの「サプライヤー行動規範」に記載されている原則と要件が遵守されていない疑いがある場合（例：メディアでの否定的な報道）、thyssenkruppは、サプライヤーに関連する状況についての情報を要求する権利を有します。thyssenkruppはさらに、thyssenkruppの「サプライヤー行動規範」の遵守を明らかに怠ったり、thyssenkruppが設定した合理的な猶予期間内に、改善策を模索したり、実施したりすることができないサプライヤーに関しては、正当な理由がある場合には、サプライヤーとの個別またはすべての契約関係を予告期間なしに終了させる権利を有します。





thyssenkrupp AG
thyssenkrupp Allee 1
45143 Essen
ドイツ

sustainability.procurement@thyssenkrupp.com